

プレスリリース [2019年8月28日]

～縄文時代 敷石住居跡の実物大レプリカを展示～
「縄文土器をよむ 文字のない時代からのメッセージ」開催中

町田市には1,000か所以上の遺跡があり、特に縄文時代の発掘資料は全国でも有数の質と量を誇ります。こうした発掘資料が一同に会する展示会「縄文土器をよむ 文字のない時代からのメッセージ」を市民文学館で開催しています。

本展では、丘陵地である町田の特性から、狩猟と採集を主体とした縄文時代には、多くの住居がつくられ、東京都を代表する大集落である町田の忠生遺跡から発見された約4,500年前の敷石住居跡^{※1}の実物大レプリカ（全長5.4m）を展示しています。

レプリカには、発掘現場で型どりされたものを展示会場で組み立て、炉や床には発掘された本物の石が使われています。また、住居跡の背景には、造形家森山哲和氏^{※2}によって縄文人が住居内で生活していた様子が描かれた高さ2m、幅5mの想像図が設置されています。

※1 敷石住居とは、竪穴住居の一種で、日本では大正14年（1924年）に町田市高ヶ坂石器時代遺跡において初めて発見されました。市では敷石住居跡の保存に努め、型どり標本を3つ保管しています。

※2 森山哲和氏は、遺跡の「造形保存」を手掛ける世界的な第一人者と呼ばれており、市で保存している3つの敷石住居跡の保存を行いました。

- 会 期：7月20日（土）～9月23日（祝）
- 会 場：町田市民文学館ことばらんど
2階展示室（原町田4-16-17）
- 観覧時間：午前10時～午後5時
- 観覧料：無料



展示会場に設置された住居跡のレプリカ

■ 本件に関するお問い合わせ先

生涯学習部生涯学習総務課 課長 佐藤 TEL 042-724-2181